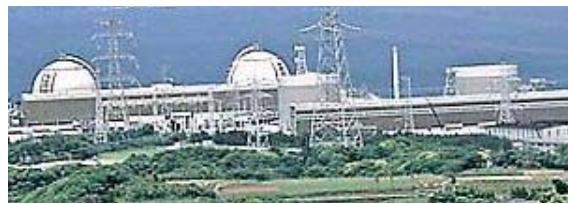


## 「原発なくそう！九州玄海訴訟」

提訴前夜集会に参加して



玄海原発

昨年3月11日の東北大震災と福島原発事故のことは、いま世界中の人々が知っています。吉井町から30キロ圏内にも、九州電力玄海原発が稼働しています。

(現在検査のため休止中)。

頑丈で安全だと宣伝されている原子炉ですが、放射能に絶えずさらされているため、日々脆弱化していくています。だから、13ヶ月ごとに停止して点検しなければいけないと法律で決められているのです。

## 地震や津波がなくても原発は危険 吉井町も被害の範囲に入っている

でも、不具合・故障が絶えず起こっています。

そこで、

「甚大な生命・健康・財産の被害を引き起こす原子力発電という方法を選択してはいけない」という思いが日本中で大きくなり、ここ九州でも裁判所に提訴することになりました。鹿児島の川内原発に関してもやがて提訴がなされる予定です。

1月30日、そんな思いを一つにして、320名の方々が参加した「提訴前夜集会」が佐賀市で開催されま

した。原告団長に元佐賀大学長を選び、九州一円から数十名の弁護士も会場に駆けつけ、決意を示しました。また、福島から福岡へは、いま世界中の人々が知っています。吉井町から30キロ圏内にも、九州電力玄海原発が稼働しています。

（現在検査のため休止中）。

頑丈で安全だと宣伝されている原子炉ですが、放射能に絶えずさらされているため、日々脆弱化していくています。だから、13ヶ月ごとに停止して点検しなければいけないと法律で決めら

れているのです。

玄海原発 1号機は 37年を経過した最も古い旧式炉の一つで、報道されているだけ

04名にのぼる一次提訴者の訴状を提出しました。引き続き2月25日（提出3月12日）締め切りで、第二維持提訴の手続きが取り組まれています。

今回の第一次提訴者1704名のうち、1400名ほどが佐賀、福岡県の方たちなのに対し長崎県からはまだ80数名しかありません。これからの中もたちは、「あのときどうして、大人の人たちは原発を中止させなかつたの」と言われないといふことです。毎日いためにも、一人でも多くの方々が、原告の一人になつて、安全な地球、安全な地域をつくっていきましょう。（○）



## TPP反対の 「請願」採択

「させぼ市議会便り2月号」を読まれましたか？これによると、いま新聞、テレビで目ににするTPP問題に關して、TPP交渉への拙速な参 加をしないよう「に」という、TPPが12月議会で採択されたという記事があります。

この要請を市議会が採択したことは喜ばしい。一步前進。なぜなら、このTP

「させぼ市議会便り2月号」を読まれましたか？これによると、いま新聞、テレビで目ににするTPP問題に關して、TPP交渉への拙速な参 加をしないよう

私たち吉井町に住んでいる住民にとって誇りでもある文化遺産・福井洞窟。この考古学上の貴重な遺跡が再び脚光を浴びて、世界で一番古い遺跡

## いま福井洞窟が発掘されているのをご存じですか？

のひとつになるかも知れないといふことです。これまでに発掘された4mではなく、もっと深く6mほど掘つて実証します。整備・発掘事業に市予算4977万円。一度見学に行つては？

Pに加入してしまえば、日本の食料の自給率が現在でさえ、39%なのに、アメリカやオーストラリアなどの広大な面積をもつ農産物などがどんどん輸入されることは明らか。それだけではなく、日本の工業、サービス、医療制度をも含む24分野にわたつてアメリカが参入し、資本力にものをいわせて日本のよいところをすつかり奪つてしまふおそれがあるということです。だから、もつと明確な「反対」「撤回」の声を野田政権に届けて欲しかったのですが…。